

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会医療法人 凌雲会	代表者	稲次 正敬	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域・自宅での生活が継続できるよう、「通い」利用を中心に、利用者・家族の様態に応じ「訪問」「宿泊」を組み合わせ、ひとりひとりの暮らしぶりを大切にし、利用者の持っている力が発揮でき、生きがいを持てる生活を目指しています。利用者の希望を取り入れた活動も実践しています。
事業所名	小規模多機能ホーム 名東の家	管理者	福富 郁代		

書面での 出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	1人	2人	10人	1人	0人	9人	0人	24人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	相手の立場に立った支援を目指し、ご利用者やご家族に寄り添った支援が出来るように取り組む。	ケア担当職員を中心にご利用者、ご家族との馴染みの関係、信頼関係作りに重点を置くことで、寄り添った支援に努める事ができた。	全職員で改善に取り組み姿勢が確認できた。地域との関わり等はコロナ禍で難しい所もありと思う。	事業所の方針を全職員で共有し、相手の立場に立ち、ご利用者やご家族に寄り添った支援を目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	季節を感じられる環境作りの継続	ご利用者にお手伝いいただきながら壁飾りの作成や毎月のカレンダー作成など季節を感じられる環境作りを実施できた。	感染予防を実施しながらの制限された中でも工夫を凝らして季節にあったイベントや環境作りに取り組んでいると感じている今後も継続して頂きたい。	季節を感じられ、居心地の良い環境作りを目指す。
C. 事業所と地域のかかわり	定期的な事業所周辺のゴミ拾い等の実施。 地域の方への挨拶を行う。	コロナ禍の為地域との関わりが難しい状態ではあるが、定期的な清掃活動や積極的に地域の方への挨拶を行うことが出来た。	地域の清掃活動の実施等、事業所と地域住民との関係構築に尽力していることが伺える。地域との関わりや協力は必要だと思います。施設が存在が地域に認められ協力を得られる体制は、利用者にとっても良い影響があると思います。	定期的な事業所周辺の清掃活動や地域住民への積極的に挨拶を行い地域との関係構築を目指す。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	感染症の状況を把握し、感染予防を実施し少しでも外の空気に触れる環境に努める。	コロナ禍で制限はあるが、感染予防を行いながら、ドライブ等外に出掛けることができた。	コロナ禍の影響を考えると外に出掛ける機会が少なくなったことは仕方がないことだと思いますが、その中でも工夫しながら、ドライブや散歩など事業所の中だけでの生活に留まらず、積極的に外の空気に触れてもらおうと尽力していることが伺える。	感染状況の把握や感染予防対策を実施し、可能な限りで、ドライブや散歩などで外に出掛ける機会を作る。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	ご意見を検討し反映できるように努める。	コロナ禍の為、書面での会議となっているが、頂いたご意見を反映するように努めた。	書面会議での開催という状況でも、事業所における取組が良く分かるように会議資料を用意してくれている。早く対面での会議が出来る様になることを期待します。	事業所の取組みをしっかりお伝えし、ご意見を運営等に反映するように努める。
F. 事業所の防災・災害対策	年2回の消防訓練に加え、地震を想定した訓練の実施を行う。	消防通報・避難訓練を日中設定1回夜間設定1回実施に加え、地震、洪水や土砂災害等で発生する可能性のある停電訓練の実施も行った。	時間もかかるとは思いますが、利用者も含め訓練は全員参加することが望ましいと思います、実際に火災等が起こった時に適切な行動がとれるように反復して行うことが重要であると思う。	可能な限りご利用者参加の年2回の消防訓練に加え、地震、洪水、土砂災害時の初動捜査のマニュアルの作成と訓練の実施を行う。